

スキルアップ!

情報検索

基本と実践

新訂第3版

中島玲子・安形輝・宮田洋輔 著

まえがき

本書は、情報検索を初めて学ぶ学生の方や、体系的に学ぶ機会がなかった社会人の方々にに向けて執筆しました。各種情報源の網羅的な紹介というよりは、検索方法の考え方に主眼を置いています。

いまや、サーチエンジンやさまざまな情報検索サイトなど、情報検索は日常生活のごく一部になりました。専門知識がなくても簡単に情報検索ができるようになったとはいえ、きちんと情報を検索して、得られた情報が適切かどうかを評価するには、やはり一朝一夕にはいきません。日頃から、どうもピンとくる情報が見つからない方や、情報検索に対する苦手意識もっている方も多いでしょう。

そのような方々のために、本書では例題を多く取り入れ、基本編、実践編、裏ワザ編の3本立てで、基礎から体系的に学んでいけるような構成にしました。応用編にあたる部分は、あえて「裏ワザ」編となっています。さらに、より発展的なトピックはコラムとしてまとめました。検索時間の大幅短縮と検索の楽しさを実感していただければ幸いです。

また、司書課程科目の「情報サービス演習」のような授業の教科書や参考書としても活用できる構成にしてあります。学校図書館の現場でも、情報検索の必要性は以前より増しています。そういった現場の方々にも活用していただけることを願っています。

執筆にあたっては平易な言葉づかいに努めたので、技術的な部分の記述を物足りなく感じる方も多かもしれません。より専門的な類書や、本書で培った検索力をもって、さらなる知識の習得をしてください。

末筆ながら、遅筆な執筆陣を忍耐強く笑顔で導いてくださった編集担当の我妻滋夫氏に、心からお礼申し上げます。

執筆者代表 中島 玲子

凡例

検索式の表記について

下記の通り、各検索項目は< >、検索語は「 」で区別します。

<検索項目> = 「検索語」

論理演算子は、論理積 (AND)、論理和 (OR)、論理差 (NOT) のように大文字で表記します。

例) 著者に「宮島輝」を含み、タイトルに「情報か検索」を含む

<著者> = 「宮島輝」 AND <タイトル> = 「情報 OR 検索」

論理積 (AND) の表記について

同一検索項目内での論理積の表現は、論理演算子のANDを用いずに空白文字で表現しています。サーチエンジンをはじめ多くの検索システムでは、検索語同士を空白文字 (スペース) で区切るにより論理積 (AND) の働きをすることが一般的になっているためです。

例) 著者に「宮」と「輝」を含む

<著者> = 「宮 輝」

目次

まえがき	(3)
凡例	(5)
目次	(6)

第 I 章 情報検索 基本編

1 情報を検索するとは	1
情報検索とは	1
情報検索は楽しい	1
なぜ欲しい情報が見つからないのか	2
何を調べたいのかははっきりさせる	3
適切な検索語を選ぶ	4
適切な情報源を選ぶ	5
選んだ情報が適切か評価する	6
情報の信憑性を確かめる	6
幅広く、柔軟に探す	7
2 データベースと検索の仕組み	10
データベースの仕組み	10
論理演算子と検索式	11
自由語と統制語	16
検索語のさまざまな表現方法	18
フィールドごとの検索	20
3 データベースには得意分野がある	22
情報検索の種類	22
事実検索	23
文献検索	24
書誌事項検索	24
主題検索	26
所在(所蔵)検索	26
全文検索	27
検索機能別に見た情報検索の種類	28

データベースの使用条件に注意する 29

4 サーチエンジンの使い方	30
Webの情報を探す	30
Webページかホームページか? Webページの呼び方	30
サーチエンジンの概要	31
基本的な検索方法	32
サーチエンジンの強み	33
検索対象の絞り込み	34
Webページを表示する仕組み	34
ロボット型サーチエンジン	36
ディレクトリ型サーチエンジン	37
サーチエンジンの限界	38
適合度順出力	38
検索オプション	39
便利な検索機能	40
情報の信憑性	40
高度な検索方法を知りたい場合の情報源	41
5 検索には戦略がある	42
検索戦略とは	42
検索目的の明確化	42
データベースの選定	43
検索語の選定	44
検索式の作成	45
検索の実行	45
検索結果の評価	46
精度と再現率	46
検索条件の調整	47
検索経過の把握	49
PC Tip PC作業もスキルアップ! 検索時間を短縮しよう!	50
a 右クリックは頼りになる	50
b ショートカットキーを使いこなそう	51
c マウスはやっぱり便利	52
d ブックマークをうまく使おう	53

目次

第Ⅱ章 情報検索 実践編

1 図書を探す 54

- 図書とは 54
- 図書の分類 54
- 図書を主題で検索する 56
- 特定の著者の図書を検索する 59
- 特定の資料を所蔵している図書館を検索する 61
- 図書を購入・入手する 63
- 外国での所蔵を探す 64

2 雑誌記事を探す 67

- 雑誌記事とは 67
- 雑誌記事を検索する 68
- 電子ジャーナルを検索する 69
- Google Scholarで記事・論文を検索する 70
- 雑誌論文を入手する 71
- 雑誌タイトルの変遷を調べる 72
- 専門データベースを使って検索する 74

3 新聞記事を探す 76

- 新聞とは 76
- 代表的な新聞の有料データベースと無料サイト 77
- 新聞の有料データベースと無料サイトの違い 78
- 新聞記事の構成要素 79
- 紙面レイアウトや掲載面の特徴 80
- 一連の報道を総合的に見たい 82
- 複数の新聞の記事を参照しよう 82
- 総合ニュース配信サイトで記事をまとめて読む 82
- リサーチ・ナビ「新聞」 83
- 新聞記事の書誌事項の書き方 83

4 統計情報を探す 85

- 統計情報とは 85
- 政府統計で消費支出の最近の動向を知りたい 85
- 政府統計の総合ポータルサイト 87
- リンク情報を活用する 89
- 都道府県や国外の公的統計情報を探す 89
- 民間統計を探す 89
- 統計関係の図書を探す 90
- 統計の基本から活用方法について知りたい 90
- 統計情報利用上の注意点 91

5 公的な資料、法律、判例を探す 92

- 公的な資料とは 92
- 行政情報の総合ポータルサイト 92
- 法令を探す—法令検索 93
- 判例を探す 94
- 行政機関等のWebサイトを探す 95
- 刊行物・公表資料を探す 96
- 政府刊行物の調べ方 98

第Ⅲ章 情報検索 応用編

1 転置索引ファイル 99

- 検索語と索引 99
- ストップワード 100

2 形態素解析とNグラム 101

- 形態素解析 101
- Nグラム 101
- 形態素解析とNグラムの比較 102

3 忘れられる権利 103

- Web上での個人情報流出の怖さ 103
- 「忘れられる権利」とは 103

目次

日本と欧州での「忘れられる権利」 104

4 リンク・リゾルバ 105

メディアの多様化と検索 105

リンク・リゾルバとは 105

リンク・リゾルバの使い方 105

5 まとめて探す？ 個別に探す？ 108

まとめて探す 108

ディスカバリーサービス 108

ディスカバリーサービスの注意点 109

6 引用文献検索 110

引用と引用文献検索 110

引用文献索引データベース 111

7 査読論文 112

査読制度 112

分野による査読制度の状況の違い 113

査読論文の検索 113

8 「調べ案内」を活用する 114

上手な調べ方をお手本にしよう 114

9 Webの検索に向かない情報 116

ググっても見つからない情報がある 116

古い情報は見つけにくい 116

書籍や論文の中身は見つけにくい 117

10 情報収集にSNSを活用しよう 118

SNSを活用した情報収集 118

ハッシュタグ検索 118

フィルターバブルに気をつけよう 119

11 電子書籍の利用 121

電子書籍とは 121

紙の本と電子書籍の違い 121

電子書籍のデータ形式 121

商用と図書館向けの電子書籍サービスの違い 122

無料の電子書籍サービス 123

国立国会図書館デジタルコレクションの例 123

電子書籍の検索 124

12 デジタルアーカイブ 125

日本のデジタルアーカイブ 125

デジタルアーカイブをまとめて検索する 126

海外のデジタルアーカイブ 127

13 識別子 129

図書の識別子 129

図書に関するその他の識別子・コード 130

雑誌の識別子 130

インターネット上の識別子 131

第IV章 検索裏ワザ お役立ち情報編

1 フィールド別に検索しよう よりの確に調べる 133

詳細検索の存在に気づこう 133

詳細検索はほぼ検索式通りに検索できる 134

簡易検索は論理和になっている 134

サーチエンジンでも検索フィールドの指定ができる 136

2 検索語の数はひかえめに 検索漏れを減らす 138

検索語をたくさん使うデメリット 138

効き目のある検索語を見極める 138

3 より広く適したものを探す 論理和や上位概念の活用 142

別の言い方をカバーする 142

目次

同義語・類義語をあらかじめ調べておく 142

表記ゆれへの対応 143

通称・愛称・集団語などの別称を見つける 144

4 ゆるやかに探してキュッと締める 制限検索の有用性…………… 146

見回しながら情報を絞り込んでいく 146

検索結果の絞り込み機能を使う 146

専門性で絞られた中をゆるやかに探す 148

5 ソレじゃないのを探したい 論理差で検索ノイズを減らす …… 150

検索ノイズを除いて精度を高める 150

NOT検索を使う方がいい場合 151

NOT検索を使う時の注意点 153

6 ないと思えば見つからない 結果はクールに眺めよう …… 154

思い込みをなくして、検索結果をよくチェックしよう 154

どんな形の情報なのか想像してみる 154

情報を選び取る 154

スニペットを活用しよう 155

ページ内検索 157

7 フィードバックの活用 検索に使える言葉を見つけよう …… 158

フィードバックの手法を活用する 158

検索したいのに名前がわからない 158

画像の類似検索を使う 160

フィードバックでギャップを埋める 160

8 オリジナル情報は早い！正確！ Web情報で原典にあたる …… 162

Webで正確な最新情報を探す 162

出典をたよりに最新情報を調べる 162

加工済データにはタイムラグがある 163

URLが変更になっていた場合 163

孫引きの不確実性 164

情報のひとり歩き 164

まとめサイトやフェイクニュース 165

9 失われたWebページを求めて Webアーカイブを使ってみる … 166

Webページの儂さ 166

サーチエンジンのキャッシュ 166

Webアーカイブ 167

個々のページのアーカイブ 168

Webアーカイブによるリスク 169

10 日本語だけに頼らない 英語は英語で検索しよう…………… 170

急がば回れ 170

日本語翻訳までのタイムラグに注意 171

日本語では得にくい情報 171

日本語インタフェースの落とし穴に注意 172

11 機械翻訳を使いこなす 日本語を各言語へ翻訳するコツ…………… 174

英語以外の言語で書かれたページを使う 174

機械翻訳機能を利用する 174

機械翻訳を使いこなす 175

翻訳精度が高いDeepL翻訳 176

機械翻訳を使ってよりこなれた外国語文を作る 177

12 あの言葉で見つけない 図書を全文検索する…………… 179

図書の本文で探したい 179

その他の機能 181

Googleブックスの注意点 182

13 誰のために調べるのか 代行検索のポイント…………… 183

母と子の会話 183

情報検索のプロのやり方 184

母と子の会話（改良版） 185

14 検索は何をもって成功なのか？ 検索評価の観点…………… 187

検索が成功したかを判断する基準 187

どれだけ期待通りだったか 187

どれだけ目新しかったか 189

どれだけ役に立ったか 189

15 文献管理の方法 入手した情報を活用しよう …………… 191

調べた文献を活用しよう 191

生成AI との付き合い方 191

調べた文献の整理方法 191

盗用と引用の違い 192

引用の要件 193

引用文献や参考文献の書き方 193

索引 195

著者プロフィール・執筆分担 203

Web情報源について

Web情報源を示すWebページは、所在（URL）、内容、画面構成ともに、改変される頻度が高いため、本書では、具体的なWebページの紹介は必要最低限にとどめました。

このため、原則として、Webページ（Webサイト）のトップページの名称及びURL（アドレス）のみを掲載しています。Webサイトに含まれる個々のページについては、トップページからたどってください。なお、本書は、2024年10月現在の状況に基づいています。

また、本文中で紹介したWeb情報源については、最新のリンク集を公開しています（右記QRコード）。なお、日外アソシエーツの下記URLからも上記リンク集をご覧ください。併せてご活用ください。



https://www.nichigai.co.jp/sales/skillup_link.html

第II章

情報検索 実践編

1 図書を探す

▶ 図書とは

図書は、古くから人類が創り出した知識や情報を伝えるために使われてきたメディアです。時代によって変化はありますが、印刷された紙を製本技術によって冊子状に綴じた情報資源をいいます。図書館は、その名の通り、「図書」を主要な情報資源として、保存・継承してきました。これまでに出版されてきた図書によって、膨大な知識と情報が私たちの時代まで残されてきています。

なお、呼び方は分野によってさまざまです。図書館では「図書」と呼びますが、一般的には「本」、出版業界では「書籍」などと呼ばれます。「書物」や「書」などという言葉が使われることもあります。

▶ 図書の分類

現在、日本では年間に8万点程度の図書が出版されています。図書は、さまざまな観点から分類することができます。

図書館では、図書が扱っている内容（主題）によって分類し、整理しています。日本の図書館では、『日本十進分類法』（NDC）という分類を用いて、蔵書を主題によってまとめて並べています。これを排架といいます。さらに蔵書目録でも主題によってまとめて検索できるようになっています。

大きさやかたち（形態）から分類することができます。用紙のサイズによって分類できますし、文庫や新書、単行本というようにも分類できます。また印刷物と電子書籍のように記録形式からも分けられます。

表 2-1-1に 2023年度の主題・判型別での出版点数についてまとめました。

表2-1-1 主題・判型別での出版点数（『出版指標年報2024年版』より）

主題	点数	%	判型	点数	%
総記	701	1.1%	A5	19,293	29.7%
哲学	3,048	4.7%	A6	6,562	10.1%
歴史・地理	3,103	4.8%	B5	7,342	11.3%
社会科学	13,411	20.7%	B6	19,173	29.5%
自然科学	4,689	7.2%	B40	2,712	4.2%
工学・工業	3,402	5.2%	その他	9,823	15.1%
産業	2,143	3.3%	総計	64,905	100.0%
芸術・生活	11,695	18.0%			
語学	1,235	1.9%			
文学	11,744	18.1%			
児童書	4,508	6.9%			
学習参考書	5,226	8.1%			
総計	64,905	100.0%			

（四捨五入等により、%の合計が100にならない場合もある）

用途や対象によって、一般書や専門書、読むための図書や調べるための図書（参考図書、レファレンスブック）のようにも分類できます。さらに参考図書を、百科事典や辞書、図鑑、年鑑、便覧のようにより細かく分けられます。

表2-1-2 図書の分類の例

主題別	NDC（0類、1類、2類・・・）
形態別	単行本、文庫本、新書、大型本
知識の種類	一般書、専門書
使い方	参考図書（百科事典、辞書、図鑑など）

索引

あ

青空文庫 156, 179
朝日新聞デジタル 77, 78

い

一般雑誌 25, 67-68, 74, 112
一般総合紙 76-77
印刷物の参考資料 5
インターネット・アーカイブ 167-168
インターネット版官報 96-97
引用 69-70, 83-84, 91, 110-111, 162, 164
引用文献検索 70, 110-111
引用文献索引データベース 68, 111

う

ウィキペディア 172
ウェブ魚拓 168

え

永続的識別子 131
エンドユーザ 184

お

横断検索 25-27, 63, 93
オンライン書店 5, 25, 27, 64, 134

か

下位概念 48
下位語 48, 143, 145
学術雑誌 25, 67-69, 73, 112-113
学術情報 5, 27, 70, 145, 148
カーリル 27, 63
簡易検索 20, 28, 133-135
完全一致 20, 148
官報 92, 98, 136

き

期間指定 34, 147
記事索引データベース 25, 27, 68, 74
既知事項検索 22-23
キャッシュ 37, 166-167, 169
共引用 110
行政情報 92, 95, 97

く

クエリ ▶ 検索式
ググる 116
クローラ 36-38

け

継続後誌 74

【著者プロフィール・執筆分担】

中島 玲子（なかじま・れいこ） 慶應義塾大学文学部非常勤講師
第Ⅰ章-1, 3, 4, 5, PC Tips-a, b, c, d, 第Ⅱ章-4, 5, 第Ⅲ章-8, 9, 第Ⅳ章-1, 2, 3, 4, 5, 6,
7, 8, 10, 11, 12, 13
〔共著〕 情報検索演習（JLA図書館情報学テキストシリーズ 2-6）

安形 輝（あがた・てる） 亜細亜大学経営学部教授
第Ⅱ章-2, 3, 第Ⅲ章-3, 10, 11, 第Ⅳ章-7, 9, 11, 14, 15
〔共著〕 情報検索演習（JLA図書館情報学テキストシリーズ 2-6）

宮田 洋輔（みやた・ようすけ） 慶應義塾大学文学部助教
第Ⅰ章-2, 第Ⅱ章-1, 2, 第Ⅲ章-1, 2, 4, 5, 6, 7, 12, 13 第Ⅳ章-13
〔共著〕 メタデータとウェブサービス 勉誠出版 2016（わかる！図書館情報学
シリーズ3）

注：共同で執筆した箇所は重複して示しています。

スキルアップ! 情報検索—基本と実践 新訂第3版

2024年12月25日 第1刷発行

著者／中島玲子・安形輝・宮田洋輔

発行者／山下浩

発行／日外アソシエーツ株式会社

〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 鈴中ビル大森アネックス

電話 (03)3763-5241 (代表) FAX(03)3764-0845

URL <https://www.nichigai.co.jp/>

組版処理／アップライン株式会社

印刷・製本／株式会社平河工業社

©Reiko NAKAJIMA, Teru AGATA, Yōsuke MIYATA 2024

不許複製・禁無断転載 (中性紙北越演クリームキンマリ使用)

<落丁・乱丁本はお取り替えます>

ISBN978-4-8169-3034-8

Printed in Japan, 2024